

平成 30 年 2 月 1 日
観 測 部
地球環境・海洋部

1 月の天候

2018 年（平成 30 年）1 月の日本の天候は、強い寒気の影響で、東・西日本で気温が低くなりました。東・西日本日本海側では降雪量が多く、下旬には北・東日本太平洋側で大雪となりました。

2018 年（平成 30 年）1 月の天候の特徴は以下のとおりです。

東・西日本で気温が低かった

東・西日本では強い寒気が流れ込みやすかったため、月平均気温は低かった。特に、中旬前半と下旬は顕著な低温となった。

東・西日本日本海側で降雪量が多かった

中旬前半と下旬は冬型の気圧配置が強まり、日本海側では東・西日本中心に大雪となる時期があり、月降雪量は東・西日本日本海側で多かった。

下旬に北・東日本太平洋側で大雪となった

22 日から 23 日にかけて、低気圧が発達しながら本州の南岸沿いを進んだ影響で、関東甲信地方や東北太平洋側では大雪となった。

[別紙（概況、統計値等）\[PDF 形式:375KB\]](#)

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 福重(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341（内線 4154） FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341（内線 3154） FAX 03-3211-8406